

平成 26 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	07	01	02	0405	商店街利便性向上事業	
総合計画	分野	しごと				
	政策	1-3	商業の振興			
	施策	2	商店街の再生			
目的	商店街の利便性向上を図り賑わいづくりを促進する					
対象	事業者、商店街団体					
意図	商店街の便益施設を運営または運営補助し、利便性を向上させる					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
<input type="checkbox"/> 商店街便益施設管理事業補助 上町駐車場の公衆用トイレの維持管理経費の補助 <input type="checkbox"/> 公共駐車場確保対策事業 大迫地区内の中心商店街来街者用駐車場を確保 <input type="checkbox"/> 商店街共同施設補修事業補助 商店街が設置した共同施設の補修経費の補助						
市民参画の有無 [対象外]						
市民協働の形態		共催		実行委員会・協議会		
		後援・協賛		補助・助成		
事業協力・協定		委託				
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
①	上町駐車場利用台数	台	計画		46,000	
			実績	46,013	49,333	
②			計画			
			実績			
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
①	商店街共同施設補修事業の実施件数	件	目標		2	
			実績	2	5	
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	<input type="radio"/>	目標値より高い	概ね目標値どおり	目標値より低い		

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
平成21年度から5か年の実績（1件、2件、2件、2件、1件：平均1.6件）から目標を設定したところであるが、国の補助金の活用により、事業実施件数が増加したものの。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	公共駐車場確保対策は未利用市有地の活用などを検討しなければならない。
	<input type="radio"/> 妥当である	多くの商店街で施設の老朽化が進んでおり、来街者の安全・安心確保の観点からも公共関与は必要と考える。
	<input type="radio"/> 見直し余地がある	
<input type="radio"/> 妥当でない		
有効性	成果の向上余地	商店街の利便性や安全・安心なまちづくりなど、商店街の取り組み如何でまだまだ向上余地はあると思われるが、商店街そのものの資金や人的な面で余力に乏しい懸念がある。
	<input type="radio"/> 向上余地がある	
	<input type="radio"/> 向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	公共駐車場確保対策のあり方を引き続き検討。
	<input type="radio"/> 事業費の削減余地がある	
	<input type="radio"/> 人件費の削減余地がある	
<input type="radio"/> どちらも削減余地がない		
公平性	受益と負担の適正化余地	受益機会は公平。 商店街共同施設改修事業は自己負担を要する。
	<input type="radio"/> 受益機会の見直し余地がある	
	<input type="radio"/> 費用負担の見直し余地がある	
<input type="radio"/> 適正である		
総合評価 …上記評価結果の総括		
商店街の利便性、来街者の安全・安心面への配慮を考えると、公共施設はもとより、商店街が設置した共同施設等の適正配置や、安全性確保は必要不可欠であり、今後もより効果的な運営、対策を検討していかなければならない。		

平成 26 年度 事業説明資料

【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-ト	事業名
一般	07	01	02	0405	商店街利便性向上事業

単位：千円

	25年度 決算額(A)	26年度 決算額(B)	27年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		6,639		6,639
財 源 内 訳	国・県			
	地方債			
	その他			
	一般財源		6,639	6,639

事業期間	<input checked="" type="radio"/> 単年度繰返	<input type="checkbox"/> 期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	--	-------------------------------	-----------------

部経営方針における目標
市民満足度の高い商業機能の確保と、商店街の再活性化を図ります。

事業開始の背景・経緯
中心市街地の商店街疲弊に歯止めをかけるため、商店街における駐車場等の利便施設の運営や、商店街が実施する共同施設の改修を補助し、利便性向上を図る。

事業概要
○商店街便益施設管理事業補助
上町駐車場の公衆用トイレの維持管理経費の補助
○公共駐車場確保対策事業
大迫地区内の中心商店街来街者用駐車場を確保
○商店街共同施設補修事業補助
商店街が設置した共同施設の補修経費の補助

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

公共駐車場確保対策事業
大迫保育園跡地の活用を検討中。アクセスする道路改良事業の進捗に鑑みて。

担当部署 部名 商工観光部 課名 商工労政課 担当係長 藤原啓昭 内線 389 (単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

商店街便益施設管理事業補助金 550千円
中心市街地の利便性向上のため、上町駐車場に設置しているトイレを公衆用トイレとして維持管理するための補助金。
補助事業者：協同組合パークアベニュー花巻
補助対象経費：水道料金、清掃、全体管理、夜間警備料

公共駐車場確保対策事業 1,631千円
大迫地区内の中心商店街来街者用の駐車場を確保する。
・需用費 10千円 (融雪剤、修繕料)
・委託料 109千円 (除雪・草刈)
・土地借上料 1,512千円

	箇所名	契約者氏名	区画数 a	1区画の 月額単価b	賃借料 a*b*12月
1	仲町	小川 富士	20	3,000	720,000
2	上町	黒沼 啓三	20	2,000	480,000
3	川原町	宗教法人到岸寺	13	2,000	312,000
			53		1,512,000

商店街共同施設補修事業補助金 4,458千円
商店街の共同施設の補修経費に対して補助する。
補助率等：補修経費の1/2 (上限なし) 1,000千円×1/2×5件=2,500千円
対象施設：駐車場、園地、緑地、公衆便所、広告灯、街路灯、アーチ、アーケード
【実績】
・吹張商店街振興組合 商店街アーケード補修事業
・上町商店街振興組合 アーケード照明改修 (LED化) 事業、アーケード看板灯改修 (LED化) 事業、上町公衆街路灯改修 (LED化) 事業
・末広町商店街振興組合街路灯改修 (LED化) 補修事業、街路灯支柱塗装事業
・大町商店街振興組合 街路灯改修 (LED化) 補修事業
・鍛冶町商店街振興組合街路灯改修 (LED化) 補修事業、コミュニティ会館外装補修事業